

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：株式会社日本リメイク



2025年5月30日

埼玉県信用金庫

埼玉縣信用金庫は、株式会社日本リメイク（以下、「日本リメイク」）に対して、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実施するに当たり、日本リメイクの活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価しました。

分析にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び「資金用途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」に適合させるとともに、ESG 金融ハイレベルパネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合させたうえで、中小企業（※）に対するファイナンスに適用しています。

※ 中小企業とは、会社法の定義する大会社以外の企業をいいます。

目 次

1. 評価対象のファイナンスの概要
2. 企業概要・事業活動
 - 2.1 基本情報
 - 2.2 沿革
 - 2.3 事業活動
 - 2.4 業界動向
3. サステナビリティ活動
4. 包括的インパクト分析
5. 本ファイナンス実行にあたり特定したインパクトと設定した KPI 及び SDGs との関係性
6. サステナビリティ管理体制
7. モニタリング
8. 総合評価

1. 評価対象のファイナンスの概要

企業名	株式会社日本リメイク
借入金額	50 百万円
資金使途	長期事業資金
モニタリング期間	5 年

2. 企業概要・事業活動

2.1 基本情報

企業名	株式会社日本リメイク
代表者名	代表取締役社長 鈴木 俊雄
本社所在地	埼玉県さいたま市北区宮原町 2-16-1
創業・設立年月	創業 2000 年 8 月 設立 2001 年 1 月
資本金	20 百万円
従業員数(2024 年 12 月時点)	40 名 (パート社員含む)
主な取引先	株式会社セキ薬品 厥ケーブルビジョン株式会社 武蔵コーポレーション株式会社 ケアサポート株式会社 団体企業
加入協会等	公益社団法人日本しろあり対策協会正会員 一般社団法人関東しろあり対策協会正会員

■ 企業理念

笑顔あふれ楽しく過ごす事が出来る様な生活環境を目指します (介護事業・施設理念)

安心して住める家づくりを通して社会に貢献 (リフォーム業・企業理念)

(当社ホームページより)

■ 事業内容・事業拠点

介護事業（障がい者グループホームの運営）

▶ 事業内容

施設名	グランドホームズ
事業開始年月	2021年10月
運営施設数	13施設（埼玉県12施設、栃木県1施設）
有資格者	サービス管理責任者、介護福祉士、理学療法、社会福祉士、看護師

▶ 事業拠点

施設名	住 所	定員
SUEHIRO（すえひろ）	埼玉県熊谷市末広3丁目2-53-9	6名
MIYATYOU（みやちょう）	埼玉県熊谷市宮町2丁目154-2	4名
ISHIHARA（いしはら）	埼玉県熊谷市石原169-9	4名
ISHIHARA2（いしはら2）	埼玉県熊谷市石原169-3	4名
ISHIHARA3（いしはら3）	埼玉県熊谷市石原1丁目46-10	4名
HIROSE（ひろせ）	埼玉県熊谷市広瀬344-9	4名
SAKURAGITYOU（さくらぎちょう）	埼玉県熊谷市桜木町1丁目81-2	5名
NARISAWA（なりさわ）	埼玉県熊谷市成沢1144-60	4名
GINZA（ぎんざ）	埼玉県熊谷市銀座7-128	5名
SAKAETYOU（さかえちょう）	埼玉県行田市栄町20-41	6名
HIROSE2（ひろせ2）	埼玉県熊谷市広瀬109-10	4名
NIKKO（にっこう）	栃木県日光市森友1519-111	4名
YAGOU（やごう）	埼玉県行田市谷郷1-12-6	6名
NIKKO2（にっこう2）	栃木県日光市森友1519-133	4名

▶ 施設運営方針

人間性を尊重し、個々の能力に応じ自立生活が送れる様支援します
 心身共に健康で楽しく心穏やかに安心の場を提供し支援します

リフォーム事業（各種リフォーム、シロアリ駆除）

▶ 事業内容

- ・シロアリ駆除、防除全般業務
- ・介護リフォーム業務
- ・住宅リフォーム業務

▶ 事業拠点

拠点名	住 所
本 社	埼玉県さいたま市北区宮原町 2-16-1 松原ビル 3F
熊谷支店	埼玉県熊谷市宮町 2-144-2F
東京営業所	東京都練馬区上石神井 2-19-9-3F
千葉営業所	千葉県千葉市中央区富士見 2-7-9 富士見ビル 6F
神奈川営業所	神奈川県横浜市西区北幸 1-11-12 水信ビル 7F
仙台営業所	宮城県仙台市宮野城區福室 2-8-17-3F
コールセンター	東京都江東区有明 3-7-26

■ ロゴマーク



▶ ロゴマークの由来

ロゴマークは新芽をイメージしたデザインである。会社が「芽生え、育つ、自立する」といった思いが込められている。また、ロゴマークの色は、当社のコーポレートカラーが由来である。オレンジを中心とした暖色で構成されている。

2.2 沿革

2000年8月	日本リメイク創業
2001年1月	有限会社日本リメイクに組織変更 資本金 3 百万円
2004年12月	株式会社日本リメイクに組織変更 資本金 10 百万円に増資
2019年12月	資本金 20 百万円に増資
2020年3月	『シロアリ安心パック』取扱開始
2020年4月	千葉営業所を開設 株式会社セキ薬品とのコラボレーション企画開始 『シロアリ安心パック』 (ドラッグストアセキ店舗チラシ設置)
2020年6月	東京営業所を開設 埼玉県経営革新計画承認企業として認定
2020年8月	会員数 406 万人ベネフィットステーション (株式会社ベネフィット・ワン) にて『シロアリ安心パック』提供開始
2020年11月	蕨ケーブルビジョン株式会社とのコラボレーション企画開始 『シロアリ安心 パック』
2020年12月	埼玉新聞にて『シロアリ安心パック』を紹介
2021年2月	日本全国の商工会議所・商工会運営の商取引支援サイト【ザ・ビジネスモー ル】で『シロアリ安心パック』を紹介
2021年4月	フジサンケイビジネスアイにて『シロアリ安心パック』を紹介
2021年5月	神奈川営業所を開設
2021年10月	熊谷支店を開設 介護事業へ参入
2022年3月	仙台営業所を開設
2023年2月	障がい者グループホーム 熊谷市に 10 施設開設
2024年1月	障がい者グループホーム 日光市に 1 施設開設
2024年9月	障がい者グループホーム 行田市に 2 施設開設
2025年4月	障がい者グループホーム 日光市に 1 施設開設

2.3 事業活動

■ 事業概要

日本リメイクは介護事業（障がい者グループホーム運営）及びリフォーム事業（住宅シロアリ防除業務・介護改修業務・住宅リフォーム全般業務）を営んでいる。創業当初はリフォーム事業のみであったが、2021年より介護事業に参入し、現状では介護事業の事業規模が大きくなっている。

以下に各事業の概要を記述する。

■ 介護事業

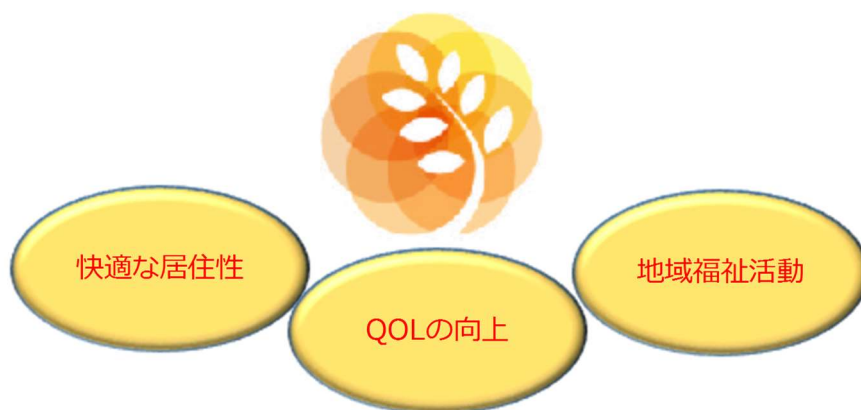
日本リメイクは「グランドホームズ」の屋号で、埼玉県内で12施設・栃木県内で2施設の障がい者向けグループホームを運営している。障がい者グループホームとは、正式には「共同生活援助」といい、障がいを持つ人が支援を受けながら日常生活を送る共同生活の場である。

グランドホームズは、知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者向けの施設として、食事や入浴のサポートを通じて、障がいを持つ人が希望する地域生活の実現や自立を支援している。

▶ グランドホームズの概要

埼玉県熊谷市に10施設、埼玉県行田市に2施設、栃木県日光市に2施設、計14施設のグループホームを運営している。1施設の定員は4～6名となっており、アットホームな施設運営を心掛けている。

▶ グランドホームズの目的



・ QOL（クオリティオブライフ、生活の質）の向上

グランドホームズは常に利用者の立場に立ってニーズを把握し、質の高い生活援助、サービスを実践している。特にこだわっていることは食事と入浴である。この点については後述する。

・ 快適な居住性 – 健常者も障がい者も関係なく、本当に住みたい家かどうか

グループホームの物件選定時は、当社代表を中心に物件を視察し、外観・内観、周りの住環境をしっかりと確認した上で、全てにおいて「自分だったらこの家に住みたいか？」という観点で決定している。例えば、近隣にスーパーやコンビニエンスストアがあり買い物はしやすいか、病院が近くにあり通いやすいか、周りの環境は良好か、などである。

障がい者であっても健常者であっても、より良い住環境で生活したい、という思いは同じである。その思いに応えるべく当社は物件の“環境”にこだわっている。

・ 地域福祉活動の推進

グランドホームズは、精神・知的障がい者の支援施設として、施設入所支援、生活介護、日中一時支援の3つの事業を運営している。これらの施設（ハード）及び機能（ソフト）を活用して地域福祉の拠点として確固たる地位を確立し、地域に愛される施設として成長していくとともに、8050問題（※）への対策を図っている。

※ 80代の親が50代の未婚の子どもの生活を支えるために経済的・精神的負担を負う社会問題

▶ グランドホームズの特長

① 手作り料理+ご飯お代わり自由

グランドホームズの食事は、すべて当社職員の手作りである。材料はネットスーパー等で一括購入し、レシピ等とともに各施設へ配送するが、料理の作り手は各施設で異なるため、出来上がる食事も見見た目や味が異なるなど、各施設ごとに個性がある。

当社が利用者に提供したい食事は“家庭料理”であり、作り立てで温かい食事を食べてもらいたい、という思いが込められている。

なお、各施設での食事は、利用者全員が決まった時間に取りではなく、一人ずつ個別かつ順番に食事している。これは各利用者がゆっくり自分のペースで、人目を気にすることなく食事を楽しんでもらいたいという考えからである。

（夕食の一例。メニューは同じカレーでも、施設（作り手）によって個性が出る）



（当社より写真提供）

② お風呂のお湯入れ替え

グランドホームズでの入浴は、利用者ごとにお湯を張り替えるなど綺麗な湯船にしており、利用者全員が綺麗な湯船でゆっくりとできるようにしている。

－ お風呂は利用者ごとにお湯を張り替えており、かつ入浴剤で色を付けている



(当社より写真提供)

③ 室内ウイルス対策の徹底

グループホームの全室で、空気清浄機及び室内塗装と照明で 99.9%ウイルスを抑制するコーティングを施しており、安心して利用できる環境を整えている。

④ あんしん見守りサービス

グループホームには当社スタッフが常駐しているため、急な体調不良の際は、日中や夜間問わず対応が可能である。

施設外観

(末広)



(谷郷)



(グループホーム個室)



(当社ホームページより)

■ リフォーム事業

▶ シロアリ対策

日本リメイクではリフォーム事業の営業所を埼玉県内を中心に、1都4県に営業所を構えている。「シロアリ革命」という商標でシロアリ駆除のサービスを提供しており、当社では坪数に関係なく料金の定額化を行うなど、施工内容や金額の透明化を実施している。

シロアリ駆除の一般的な流れとしては、問合せ後に最低4～5回の現地訪問をすることが多い中、当社は工程の簡略化を実現しており、即日施工も可能で最大でも訪問回数は2回程度である。一般的に5人程度が関与する業務を簡略化し、施工兼営業の2名程度で業務に当たっているため、一律かつ顧客にとってリーズナブルな料金での対応を可能にしている。



(一般的な施工の流れ)



(シロアリ革命)



シロアリ革命は一般的な工程と比べ、工程を簡略化することで短期かつリーズナブルな一律料金での施工を実現している。

▶ 介護リフォーム

日本リメイクでは、一般住宅における介護リフォームを幅広く扱っている。介護リフォームとは、高齢者が自宅で安全・安心に暮らすことができるよう改修することであり、具体的には「トイレや浴室に手すりを設置する」、「段差をなくしフラットにする」などが該当する。

介護リフォームを行う際は、諸条件はあるものの介護保険のほか、市区町村の補助金を活用したフォロー体制を整備している。また、介護リフォーム専門の職人を配備し、確かな品質とコスト・パフォーマンスで顧客のニーズに的確に応え、信頼を得ている。

【施工例】



(当社ホームページより)



▶ 住宅リフォーム全般業務

「リフォーム」、「リノベーション」、「建て替え」の3通りの方法から、現在の家の状態に合わせて適切な方法、価格の選択肢の中から最良の家づくりを実現させる取組を実施している。



【施工例】

(当社ホームページより)

■ 売上高概況

単位：千円

部門別売上	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
介護事業	57,777	144,794	176,725
リフォーム事業	116,985	79,429	62,412
合計	174,763	224,224	239,137

2.4 業界動向

■ 障がい者数

厚生労働省によれば、図1の通り障がい者数は全体で1,160万人、うち精神障がい者は614万人いるとしている。精神障がい者のうち在宅は586万人であり、障害福祉サービスを利用している人数は図2の通り約30万人（約5%）程度である。

厚生労働省では障がい者数は増加傾向にあるとしており、今後も障がい者向けグループホームの需要は増加傾向にあるものとみられる。

図1 障がい者の数

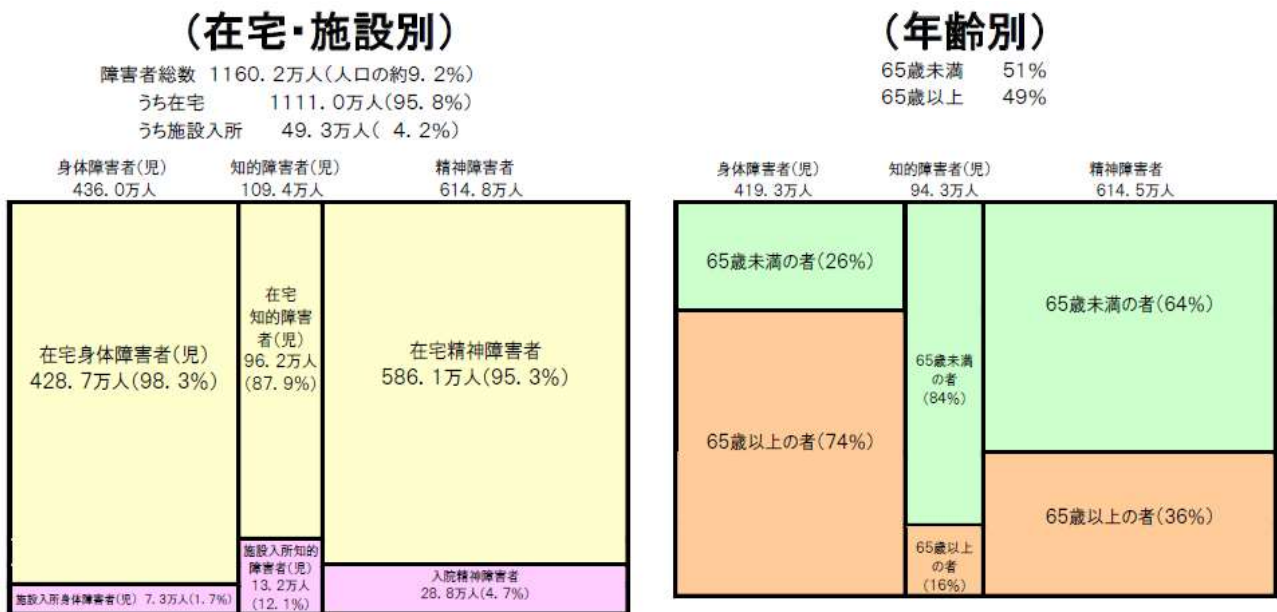
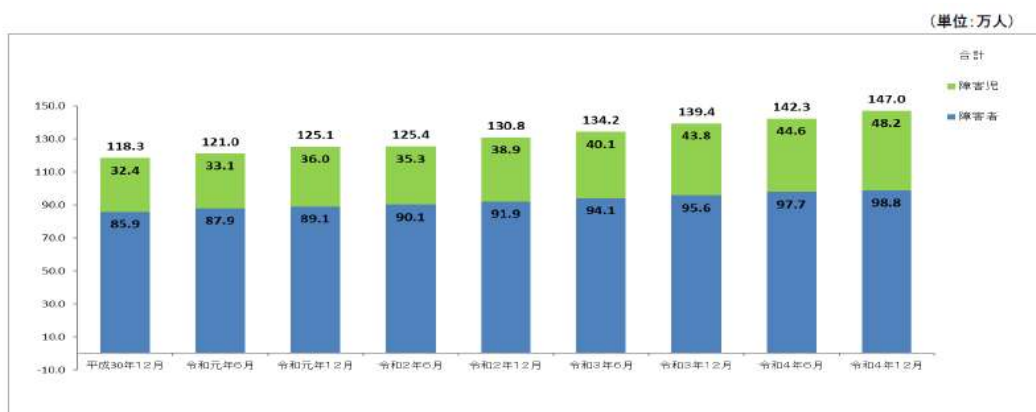


図2 障害福祉サービス利用者の動向



○令和3年12月→令和4年12月の伸び率(年率)..... 5.4%

このうち		(令和4年12月の利用者数)	
身体障害者の伸び率.....	0.8%	身体障害者.....	22.8万人
知的障害者の伸び率.....	1.9%	知的障害者.....	44.0万人
精神障害者の伸び率.....	7.6%	精神障害者.....	30.2万人
障害児の伸び率.....	9.7%	難病等対象者...	0.4万人(4,348人)
		障害児.....	49.6万人(※)
		(※障害福祉サービスを利用する障害児を含む)	

(いずれも厚生労働省 2023.5.22「障害福祉分野の最近の動向」より)

3. サステナビリティ活動

日本リメイクは「外観・内観、周りの環境全てにおいて健常者も障がい者も関係なく、本当に住みたい家かどうか」をコンセプトとして障がい者グループホーム運営しているほか、「安心して住める家づくりを通して社会に貢献」するとの経営指針のもと、リフォーム事業として住宅シロアリ防除業務・介護改修業務・住宅リフォーム全般を請け負うなど、様々なシーンで社会に貢献している。

両事業とも人々の“暮らし”に直接関わる事業であり、地域社会の持続可能性や発展に貢献するとともに、自社の社員の幸福を目指すべく、以下のような環境・社会・経済へのインパクトを生むサステナビリティ活動を行っている。

【社会面】

■ 障がい者向けグループホームの運営

▶ 居住環境

日本リメイクはグループホームを運営し、障がい者にとって“本当に住み心地の良い”生活及び住居を提供している。食事や入浴は既述の通り気を配っているほか、毎日の清掃の徹底や Wi-fi といった通信環境の整備など、居住環境にも十分に気を配り精神的にも身体的にも安心して暮らすことができる環境を実現している。

▶ 空き家の活用

グランドホームズの各施設は、すべて空き家をリフォームしてグループホームとして活用しているものである。リフォームについては当社が得意としており、新築物件より事業開始時の費用が抑えられるほか、空き家を減らすことを通じて街の景観や治安の維持にも繋がっている。

また、リフォームする際には、住宅設備について極力エコ性能の高い設備への入替を行うなど環境に配慮した取組を行っている。

▶ 利用者の受入

一定の条件は設けているものの、本人と面談し利用意向のある方を、原則受け入れる方針としている。当社代表が施設長や各施設の職員とも相談しつつ受入可否を決めているが、その回答のスピードやレスポンスの早さを重視している。保証人や保証金も不要とし、利用価格も配慮することで、障がい者が利用しやすい施設となっている。

▶ 介護職員への教育

利用者が安心して暮らせる環境を整備するためには、職員への教育は欠かすことができない。当社では職員による利用者への虐待といった事象は起きておらず、今後も起こすことのないよう職員への研修を定期的実施しているほか、パート職員であっても業界の研修に積極的に参加させるなど、スキルアップや正しい意識の醸成を図っている。

また、グランドホームズでは、職員は利用者を“ご利用者様”と呼称している。「利用者の面倒を見ている」のではなく、「当社施設を利用してきている」という意識付けをするだけでも虐待といった事象は起きない、と考えており、そのためにも呼称にはこだわりをもって職員へ教育している。

■ シニアの積極的活用

▶ シニアの活用

日本リメイクでは、職員の定年を 60 歳とし 65 歳までの継続雇用を認めているが、65 歳以降でも会社が認めた場合は年齢の上限なく継続雇用を認めており、シニアの活躍を図っている。

定年後であってもシニア職員の能力を評価し、その成果を賞与などに反映しているほか、定年後も現役の時と変わらない永年勤続表彰や休暇を適用するなど、シニアのモチベーション向上に努めている。定年後も賃金を含め雇用条件等は変えることはせず、“いつまでも現役職員”という取り扱いを徹底している。

現在でも 70 歳を超える正職員が在籍しており、職員の平均年齢は 60 歳である。当社の介護事業は、入浴や排泄介護といった肉体労働的な介護業務がないことから、シニアでも活躍できるという特長があることが理由である。

当社は、これらの取組により、シニア職員が持つ豊富な経験や技術を活かしながら、継続して働ける環境を提供している。また、以下の通りグランドホームズは埼玉県より「シニア活躍推進宣言企業プラス」の認定を受けている。

▶ シニア活躍推進宣言企業プラスの認定取得

日本リメイクでは、2023 年 11 月に埼玉県より「シニア活躍推進宣言企業プラス」の認定を受けている。同認定は、シニアが活躍できる環境づくりを推進することを宣言する企業を埼玉県が認定するものであり、認定条件は以下の通りである。

また、「プラス」は下記条件の他に「定年を廃止」もしくは「定年年齢を 70 歳以上または継続雇用の上限年齢を 70 歳以上に引き上げ」ている企業を認定するものであり、シニアの雇用機会をさらに広げるための取組を奨励している。

当社は「シニアが働きやすい就労環境の整備」について、埼玉県が定める認定基準のうち 5 項目を満たしていること、継続雇用の上限年齢を設定していないことから、「シニア活躍推進宣言企業プラス」に認定されている。

シニア活躍推進宣言企業の認定条件

- ①シニアの定年や継続雇用の制度を見直す
- ②シニアの雇用、働く場所・機会を増やす
- ③シニアが安心して働ける環境を整える
- ④シニアの技術・経験を生かす
- ⑤シニアの能力を伸ばす
- ⑥福利厚生を充実する
- ⑦シニアの活躍推進の取組を情報発信する

「シニア活躍推進宣言企業プラス」認定



(当社ホームページより)

■ 働きやすい職場環境の整備

▶ 時間外労働時間

当社の時間外労働はいずれの事業においても業種平均より低い水準である。定められた労働時間内で仕事を終結させる方針としており、その意識が根付いている。

時間外労働（正社員・月平均） 2024年1月～2024年12月	5.0 時間	介護事業 業種平均 6.8 時間（※1）	建設業 業種平均 13.3 時間（※1）
------------------------------------	---------------	-------------------------	-------------------------

※1 厚生労働省「毎月勤労統計調査」（令和6年度分確報）医療・福祉 - 一般労働者

※2 厚生労働省「毎月勤労統計調査」（令和6年度分確報）建設業 - 一般労働者

▶ 有給休暇の取得推進

全社的に有給休暇の取得率改善を図っており、直近1年間における年間有給休暇取得率は58.0%となっている。

有給休暇取得率（正社員1人あたり平均） 2024年1月～2024年12月	58.0%	介護事業 業種平均 66.8%（※3）	建設業 業種平均 60.7%（※4）
---	--------------	------------------------	-----------------------

※3 厚生労働省「令和6年就労条件総合調査」医療・福祉

※4 厚生労働省「令和6年就労条件総合調査」建設業

■ 女性活躍の推進

日本リメイクでは女性が活躍している。人手不足が続くことが見込まれる中、多様な人材の積極的活用は必要不可欠であり、当社は性別に関係なく意欲や能力のある人材を活用していく方針である。

女性従事者数（パート社員含む） 2024年12月時点	33名(82.5%)	介護事業 業種平均 75.6%	建設業 業種平均 18.3%
-------------------------------	-------------------	--------------------	-------------------

※ 総務省「労働力調査（2024年）」表Ⅱ-5[産業、職業別就業者数]

社会保険・社会福祉・介護事業、建設業

■ 職員への教育

日本リメイクでは職員への教育に注力しており、パート職員であっても積極的に研修に参加させ、スキルアップを図っている。研修参加費用等はすべて当社が負担しており、職員の金銭的な負担を軽減している。

■ 福利厚生

▶ 資格手当

日本リメイクでは、下表の通り定められた各種資格を保有している場合、当該職員に資格手当を支給している。資格手当を支給することで、職員の賃金増加に直接つながる他、職員のスキルアップを後押ししている。

資格名	資格手当
社会福祉士、精神保健衛生士 介護福祉士、看護師	月 10,000 円
准看護師、実務者研修修了者	月 5,000 円
初任者研修修了者（旧ヘルパー2級）	月 3,000 円

▶ 慰労手当

日本リメイクでは、月の勤務日数が多く、かつ勤続年数が高い職員に報いるため、2025年3月より慰労手当の制度を開始した。同手当は年3回（4月、8月、12月）、以下の計算式に基づいて支給されるものである。

職員にとって毎月の勤務日数が多く、勤続年数が高くなるほど手当の支給額は増加することになり、当社で長く勤めるメリットがある。また、当社にとっても職員に長く勤めてもらうことは多くのメリットがあり双方にとってメリットある取組といえる。

（慰労手当支給額計算式）

夜勤職員：月に10日以上勤務した月数 × 1,200 円

日勤職員：月に10日以上勤務した月数 × 600 円

※ 算定する月数に上限はないため、長く勤めるほど手当の支給額は多くなる。

■ 定額のシロアリ駆除サービスの提供

日本リメイクでは、「安心して住めるお家づくりを通じて社会に貢献」との理念を実現するため、創業当初からリフォーム事業を営んできた。

2014年より「シロアリ革命」という商標で、シロアリ駆除の定額化を行い金額とサービス内容を明確にしている。作業は公益社団法人日本しろあり対策協会に登録しているシロアリ防除施工士が行い、5年間の保証と損害賠償保険の加入により顧客保護に努めている。

【環境面】

■ 環境保全への対応

▶ 介護施設の全 LED 化

日本リメイクが運営するグループホームは、既述の通り中古住宅をリフォームして利用しているが、当社ではすべての施設を LED に変更している。

LED 電球は一般電球に比べ消費電力が少なく、また、長寿命という特長がある。消費電力が少なく済むということは、CO2 排出量の削減に繋がるほか、長寿命であることから廃棄物削減に繋がる取組といえる。

▶ 廃棄物の適正処理

当社は介護事業及びリフォーム事業で、廃棄物を適正に処理している。出来る限り廃棄物を出さないようにしており、持続可能な事業を心掛けている。

【その他】

■ スポーツへの協賛

日本リメイクは、男子プロ卓球リーグの T.T 彩たまの企業サポーターとなっており、スポーツを通じて青少年の健全な育成に貢献している。

当社は T.T 彩たまと共催で小中学生を対象とし、地域コミュニティの活性化等を目的とした卓球フェスティバルを開催している。直近では、2024 年 7 月に埼玉県熊谷市等が後援となり開催し、小中学生を中心に過去最多となる 166 名が参加した。

当社の事業と直接関連性はないものの、当社ではスポーツ振興は青少年教育に非常に重要かつ効果的であると考えており、今後もスポーツチームへの協賛やフェスティバルの開催を通じて、地域に貢献していく。



参加費 無料
お土産付き

埼玉県 プロ男子卓球チーム
T.T 彩たま
第3回
熊谷卓球
フェスティバル

2024 7.28 日
9:30~11:30
 会場：熊谷市立市民体育館
 埼玉県熊谷市桜木町2-33-5

募集人数 150名 (先着順)
 応募締切 2024年7月15日(月)

参加対象
 年齢・性別・卓球の経験は問いません。イベントに参加されない場合はお申込みは不要です。2階観客席よりご覧ください。
参加費無料!
 プレゼント付き

持ち物
 ラケット・タオル・シューズ・飲み物
 ※ラケット貸出しもできます。

お申込み先(メールorFAX)
 ・熊谷市スポーツタウン推進課
詳しくは裏面をご覧ください
 注意事項を必ずご一読いただいてから、お申し込み下さい。

主催 | グランドわおん(株式会社日本リメイク)
 T.T 彩たま株式会社
 共催 | 公益財団法人熊谷市スポーツ協会、熊谷市卓球連盟
 後援 | 熊谷市・熊谷市教育委員会・熊谷スポーツコミッション

jremake 熊谷市

本イベントに関するお問合せ先
 熊谷市総合政策部スポーツタウン推進課
 (熊谷市役所7階)
 〒360-8601 熊谷市宮町2-47-1
 ☎048-524-1135

「第3回 熊谷卓球フェスティバル」のパンフレット
 (2024年7月28日開催)

プロ卓球チームである T.T 彩たまの選手を招き、技術指導も交え、小中学生を中心に卓球の楽しさを伝えた。150名の募集であったが、最終的に過去最多の166名が参加するなど年々人気は高まっている。

4. 包括的インパクト分析

埼玉縣信用金庫は、所定の手続きに従い、日本リメイクのインパクトを分析・評価するにあたり、第一に UNEP FI のインパクトレーダーによりインパクトエリア及びトピックを確認した。

■ UNEP FI のインパクトレーダーにより特定したインパクト

国際標準産業分類	高齢者や障がい者に対する居住介護活動 / 建物の建設業
----------	-----------------------------

	インパクトエリア	インパクトトピック		
		紛争	現代奴隷	児童労働
社会	人格と人の安全保障	データプライバシー	自然災害	
		健康および安全性		
	資源とサービスの 入手可能性、 アクセス可能性、 手ごろさ、品質	水	食糧	エネルギー
		住居	健康と衛生	教育
		移動手段	情報	コネクティビティ
		文化と伝統	ファイナンス	
	生計	雇用	賃金	社会的保護
	平等と正義	ジェンダー平等	民族・人種平等	年齢差別
		その他の社会的弱者		
	社会 経済	強固な制度・平和・安定	市民的自由	法の支配
健全な経済		セクターの多様性	零細・中小企業の繁栄	
インフラ				
経済収束				
環境	気候の安定性			
	生物多様性と生態系	水域	大気	土壌
		生物種	生息地	
	サーキュラリティ	資源強度	廃棄物	

(黄：ポジティブ増大 青：ネガティブ緩和 緑：ポジティブ/ネガティブ双方 のインパクトエリア/トピックを表示)

次に日本リメイクの事業活及び個別要因を加味し、インパクトの除外・追加を実施した。

■ 日本リメイクの事業活動及び個別要因を加味したインパクトの特定

「現代奴隷」

建設業においては強制労働のリスクがあることからネガティブ・インパクトが抽出されているが、日本リメイクでは強制労働を行っている事実はないことから、ネガティブを削除する。

「自然災害」

日本リメイクでは建設業として自然災害を引き起こすような土地の開発等は行っておらず、事業と関連性がないことからネガティブを削除する。

「エネルギー」

建設業においては「エネルギーへのアクセス向上が期待できる」ことからポジティブ・インパクトが、「エネルギー効率の欠如によるコスト増加をもたらすおそれがある」ことからネガティブ・インパクトが抽出されているが、日本リメイクは再生エネルギー関連施設の建設等はしておらず、また、エネルギーを多く使用するような大規模な施設の建設等はしていないなど、事業と関連性がないことからポジティブ、ネガティブ双方を削除する。

「健康と衛生」

介護事業では「人々の健康に貢献することが期待される」としてポジティブ・インパクトが抽出されているが、日本リメイクの介護事業では、利用者のけがや病気の治療に関連する事業は行っていないことからポジティブを削除する。

「教育」

日本リメイクでは、介護事業において全職員に対し研修への参加を促すなど、職員への教育を積極的に実施していることからポジティブを追加する。

「文化と伝統」

日本リメイクは建設業として重要な文化財等を損なうような開発や建設は行っておらず、事業と関連性がないことから、ネガティブを削除する。

「賃金」

日本リメイクにおける賃金水準と業種ごとの平均値を踏まえ、ポジティブを削除する。

「民族・人種平等」

日本リメイクでは外国人を雇用しておらず、民族・人種差別の事実はないことからネガティブを削除する。

「年齢差別」

日本リメイクでは年齢に関係なく職員として雇用し、かつ、いつまでも活躍できる制度を構築するなど、高齢層職員の雇用を促進していることから、ネガティブを追加する。

「零細・中小企業の繁栄」

日本リメイクでは建設業として、他の零細・中小企業と連携してリフォーム事業を成長させていく方針ではなく、かつ徐々に縮小し介護事業に注力する方針であることから、ポジティブを削除する。

「インフラ」

日本リメイクでは建設業としてインフラに関連する工事は請け負っておらず、事業と関連性がないことからポジティブを削除する。

「水域」、「大気」、「土壌」、「生物種」、「生息地」

日本リメイクでは、汚水や土壌汚染物質の排出、大気汚染物質の発生、森林伐採等の開発や、生態系に影響を及ぼすような開発や建設は行っていないことから、ネガティブを削除する。

「気候の安定性」「資源強度」「廃棄物」

日本リメイクでは、中古住宅をリフォームしてグループホームに活用しているほか、リフォーム事業を通じて資源の使用抑制や廃棄物の削減に貢献しているためポジティブを追加する。

■ UNEP FI のインパクトレーダー及び日本リメイクの事業活動、個別要因を加味して特定したインパクト一覧

インパクトエリア / トピック	ポジティブ・インパクト (ポジティブ増大)	ネガティブ・インパクト (ネガティブ緩和)
健康および安全性	●	●
住居	●	
健康と衛生		●
教育	●	
雇用	●	
賃金		●
社会的保護		●
ジェンダー平等		●
年齢差別		●
その他の社会的弱者		●
気候の安定性	●	●
資源強度	●	●
廃棄物	●	●

■ インパクトエリア／トピックに対し貢献する取組

各インパクトエリア／トピックに対して、ポジティブ・インパクトの増大や、ネガティブ・インパクトの低減に貢献する当社の取組内容は以下の通りである。

なお、取組 No.①～④については KPI を設定する。取組 No.⑤～⑦については KPI を設定しないが、その理由については後述する。

No.	取組内容	特定したインパクトの項目
①	障がい者向けグループホームの運営拠点数の拡大	PI「健康および安全性」「住居」 NI「その他の社会的弱者」
②	グループホーム運営を通じた空き家の活用	PI「気候の安定性」「資源強度」「廃棄物」 NI「気候の安定性」
③	多様な職員の雇用促進 及び賃金水準の向上	PI「雇用」 NI「賃金」「ジェンダー平等」「年齢差別」
④	働きやすい職場環境の整備	NI「健康および安全性」
⑤	資格手当及び慰労手当の継続	NI「賃金」「社会的保護」
⑥	社員教育の継続	PI「教育」 NI「健康および安全性」「健康と衛生」「社会的保護」
⑦	リフォームの取組	PI「資源強度」「廃棄物」
⑧	廃棄物処理の取組	NI「資源強度」「廃棄物」

※ PI：ポジティブ・インパクト NI：ネガティブ・インパクト

5. 本ファイナンスの実行にあたり特定したインパクトと設定した KPI 及び SDGs との関係性

①障がい者向けグループホームの運営拠点数の拡大

項目	内容
インパクトの種類及びインパクトエリア/トピック	ポジティブ・インパクト「健康および安全性」「住居」 ネガティブ・インパクト「その他の社会的弱者」
取組の方針及び内容	・埼玉県を中心に北関東を主要エリアとし、知的障がい者、精神障がい者、発達障がい者向けのグループホーム「グランドホームズ」運営拠点の拡大を通じて、多くの障がいを持つ人が“本当に住み心地の良い”家で、健やかかつ自立した生活を送ることに貢献する。
設定する KPI（経営目標）	・障がい者向けグループホーム「グランドホームズ」運営拠点数 50 拠点 （2030 年）

日本リメイクは、障がい者向けグループホーム「グランドホームズ」の運営を通じて、障がいを持つ人の健やかで自立した生活を支援している。1施設の定員は4～6名と小規模であり、利用者が自宅に帰ってくるようなアットホームな雰囲気ของกลุ่มホーム運営を心掛けている。



グループホームの運営は、障がいを持つ人の身体的・精神的な健康の維持・増進に役立つものであり、人間らしい健やかで自立した生活に貢献するものである。

当社は、「グランドホームズ」の運営拠点数を拡大を通じて、SDGsの達成に貢献すべく KPI を設定する。

【障がい者向けグループホーム「グランドホームズ」運営拠点数の目標値】

年	2024年 実績	2025年 目標	2026年 目標	2027年 目標	2030年 目標
運営拠点数	13 拠点	15 拠点	20 拠点	25 拠点	50 拠点

▶ 関連する SDGs の 17 のゴールと 169 のターゲット

関連する SDGs	ターゲット	内 容
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	3.4	2030 年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	11.1	2030 年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。

②グループホーム運営を通じた空き家の活用



項目	内容
インパクトの種類及びインパクトエリア/トピック	ポジティブ・インパクト「気候の安定性」「資源強度」 「廃棄物」 ネガティブ・インパクト「気候の安定性」
取組の方針及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドホームズを新設する際は、中古の空き家をリフォームするなど、環境にやさしい取組を行う。 ・リフォーム時は極力エコ性能の高い住宅設備や LED へ入れ替える。
設定する KPI（経営目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドホームズ運営拠点についてリフォーム済中古住宅の割合 100%を継続

日本リメイクが運営する障がい者向けグループホーム「グランドホームズ」は、空き家となっている中古住宅をリフォームして運営している。リフォームは温室効果ガスの発生割合が大きい躯体工事が少ないため新築と比べ環境にやさしいほか、空き家の活用は地域に賑わいをもたらすとともに、街の景観や治安の維持に繋がるものである。

グランドホームズは新築住宅で運営することも可能だが、当社では SDGs への貢献という観点から空き家（中古住宅）の活用を積極的に行い、リフォーム時には極力エコ性能の高い住宅設備や LED への入れ替えを図っており、環境にやさしい運営を行っている。

当社は今後もグランドホームズを拡大させていく方針であるが、SDGs 達成に貢献すべく以下の通り中古住宅の活用について KPI を設定する。

▶ 関連する SDGs の 17 のゴールと 169 のターゲット

関連する SDGs	ターゲット	内容
	12.5	2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	13.1	全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靱性（レジリエンス）及び適応の能力を強化する。

③多様な職員の雇用促進及び賃金水準の向上

項目	内容
インパクトの種類及びインパクトエリア/トピック	ポジティブ・インパクト「雇用」 ネガティブ・インパクト「賃金」「ジェンダー平等」 「年齢差別」
取組の方針及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・グランドホームズの事業拡大を図るにあたり、多様な職員の雇用を促進する。 ・職員を雇用する際は年齢や性別にかかわらず、意欲があれば積極的に雇用し、雇用条件も差を設けないこととする。 ・職員の勤務時間や労働負荷、または業種ごとの賃金水準を踏まえ、賃金水準の向上を図る。
設定する KPI（経営目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の新規採用者数 25名（2030年） ・職員の賃上げ +10%（2030年、2024年比）

日本リメイクは職員の雇用にあたり、高齢層や女性でも雇用条件に差は設けておらず、雇用機会は平等としており、高齢層や女性を積極的に採用している。介護事業においては肉体労働が少なからず発生するが、「グランドホームズ」では肉体労働が少なく職員の身体的負担が軽いこと、加えてアットホームな雰囲気や大事にしていること、などが多様な人材を活用できる理由として挙げられる。

高齢化社会が進展する日本では、働き手として高齢層や女性の活用は重要であり、当社や地域の発展のためにも必要であると当社は考えている。多様な人材のさらなる雇用促進を図るため、以下の通り新規雇用者数について KPI を設定する。

また、当社は職員の雇用継続やモチベーション向上を図るため、職員の勤務時間や労働負荷などの勤務実態を十分に加味し、業種ごとの賃金水準を踏まえ、賃上げを図る方針であるため KPI を設定する。



【新規雇用者数の計画値】

年	2025年 目標	2026年 目標	2027年 目標	2028年 目標	2030年 目標
新規雇用者数	15名	20名	20名	20名	25名

【賃上げ水準の計画値】

年	2025年 目標	2026年 目標	2027年 目標	2028年 目標	2030年 目標
年ごとの賃上げ水準	-	+1%	+2%	+2%	+3%
2024年比	-	+1%	+3%	+5%	+10%

▶ 関連する SDGs の 17 のゴールと 169 のターゲット

関連する SDGs	ターゲット	内 容
	8.5	2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
	8.6	2020 年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
	10.2	2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

④働きやすい職場環境の整備

項目	内容
インパクトの種類及びインパクトエリア/トピック	ネガティブ・インパクト「健康および安全性」
取組の方針及び内容	・有給休暇の取得について代表取締役が率先して職員に促し、職員全体の有給休暇取得率の改善を図る。
設定する KPI（経営目標）	・ 2030 年における職員一人当たりの年間有給休暇取得率 70%

日本リメイクでは、これまで有給休暇取得について、法定の日数取得は管理していたものの、それ以上の取得については各職員の判断に任せていたため、現状介護業の業種平均を下回る取得率となっている。



これまでも有給休暇の取得を各職員に促し、取得率の改善を図ってきたが、今後は代表取締役が率先して取得を促し、各職員に意識付けをしっかりと行うことで取得率の改善を図っていく。

当社は、多様な職員の雇用確保を図るためにも、職場環境の整備・改善は必要不可欠であると考えており、多様な人材がいきいきと明るく、積極的に働くことができるよう、職場環境を改善していく方針である。

【職員一人当たり年間有給休暇取得率の計画値】

年	2024 年 実績	2025 年 目標	2026 年 目標	2027 年 目標	2030 年 目標
年間有給休暇 取得率	58%	65%	67%	68%	70%

▶ 関連する SDGs の 17 のゴールと 169 のターゲット

関連する SDGs	ターゲット	内容
	3.4	2030 年までに、非感染性疾患による若年性死亡率を、予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させ、精神保健及び福祉を促進する。
	8.5	2030 年までに、若者や障がい者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。
	8.8	移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。

なお、以下の取組は、インパクトとして特定しているが、下記理由から KPI は設定していない。

No.	取組内容	インパクト	KPI を設定しない理由
⑤	資格手当及び慰労手当の継続	PI「賃金」「社会的保護」	当社は専門資格の取得を通じた職員のスキルアップを重視しており、資格を取得した職員の努力に報いるため資格手当を支給している。 また、勤続年数が高いなど、業務に貢献している職員に対し慰労手当を支給しているが、今後も資格手当及び慰労手当の取組は継続していく方針のため。
⑥	社員教育の継続	PI「教育」 NI「健康および安全性」 「健康と衛生」 「社会的保護」	当社は職員（パート職員含む）に対し、積極的な研修受講（研修費用は全額当社負担）や、資格の取得を図っている。また、教育を通じて利用者に丁寧かつ親切な対応を心掛け、決して利用者へ虐待など行われぬよう徹底している。以上より、社員教育は継続的に徹底して行う方針のため、KPI は設定しない。
⑦	リフォームの取組	PI「資源強度」「廃棄物」	当社では住宅リフォームや介護リフォームを請け負っており、居住性向上の効果が見込める取組である。引き続きリフォームは請け負う方針であるが、顧客が十分に納得する形でリフォームを進めていく方針であることから目標件数は設定しない。
⑧	廃棄物処理の取組	NI「資源強度」「廃棄物」	当社は事業で出た廃棄物について、法令に則り適正に処理している。また、出来る限り廃棄物を出さないようにしており、この取組を継続する方針であるため。

※ PI：ポジティブ・インパクト NI：ネガティブ・インパクト

6. サステナビリティ管理体制

日本リメイクでは、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むにあたり、代表取締役鈴木 俊雄氏を最高責任者として、自社の事業活動とインパクトリーダー、SDGs における貢献などとの関連性について検討した。ポジティブ・インパクト・ファイナンス実行後も、日本リメイクは以下の通りの管理体制にて、全従業員が一丸となって KPI の達成に向けた活動を進めていく。

【サステナビリティ管理体制】

(最高責任者) 代表取締役 鈴木 俊雄
(プロジェクトリーダー) 同上

7. モニタリング

ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むにあたり設定した KPI の進捗状況は、日本リメイクと埼玉縣信用金庫が年 1 回以上の頻度で話し合う場を設け、その進捗状況を確認する。モニタリング期間中は、埼玉縣信用金庫は KPI 達成のため適宜サポートを行う予定であり、事業環境の変化等により KPI を見直す必要がある場合は、日本リメイクと埼玉縣信用金庫による協議のうえ、再設定を検討する。

8. 総合評価

本件は UNEP FI の「ポジティブ・インパクト金融原則」に準拠した融資である。日本リメイクは、上記の結果、本件モニタリング期間を通じてポジティブ・インパクトの発現とネガティブ・インパクトの低減に努めることを確認した。また、埼玉縣信用金庫は年に 1 回以上その成果を確認する。

本評価書に関する重要な説明

- ・本評価書は、日本リメイクから供与された情報と、埼玉縣信用金庫が独自に収集した情報に基づく現時点での計画または状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。また、埼玉縣信用金庫は本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について一切責任を負いません。
- ・本評価を実施するにあたっては、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び「資金用途を限定しない事業会社向け金融商品のモデル・フレームワーク」に適合させるとともに、ESG 金融ハイレベルパネル設置要綱第2項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に整合させながら実施しています。なお、株式会社日本格付研究所から、ポジティブ・インパクト・ファイナンスに関する第三者意見書の提供を受けています。

<評価書作成者及び本件に関するお問い合わせ先>

埼玉縣信用金庫

地域創生部 事業ソリューショングループ

主任推進役 田口 和彦

〒 330-0061

埼玉県さいたま市浦和区常盤 5-15-15

TEL : 048 - 526 - 1111 (代)

FAX : 048 - 711 - 8130